

浄連協第7号
平成18年2月9日

指定確認検査機関各位

大阪府浄化槽行政連絡協議会
会長 中野 義裕

コンビニエンスストアにおける浄化槽の取扱いについて（通知）

コンビニエンスストアの浄化槽処理対象人員の算定方法等について、大阪府内における取扱いを当分の間下記のとおりとしますので通知します。

記

1. コンビニエンスストアの定義

「飲食料品を扱い、売り場面積 30 m²以上 250 m²未満、営業時間が1日で14時間以上のセルフサービス販売店を指す。」（経済産業省の商業統計での業態分類による）

2. 算定基準で適用する建築用途

JIS A 3302-2000 店舗関係 百貨店 「5-ロ」

3. 処理対象人員算定式

$n = 0.15A$ 【 n：人員(人)、A：延べ面積(m²) 】

4. その他留意事項

(1) 仕出し・弁当等を店内で加工して販売する場合には、以下によること。

- ・ 油脂分離槽（グリーストラップ）を設置すること
- ・ 厨房部分の浄化槽処理対象人員は、店舗関係 飲食店 「5-ハ（一般の場合）」で算定*すること。

※ 算定式： $n = 0.72A$ 【 n：人員(人)、A：延べ面積(m²) 】

(2) 浄化槽には、油、牛乳、ジュース、アイスクリーム等の廃棄物を流入させないこと。

5. 運用時期

平成18年4月1日から。

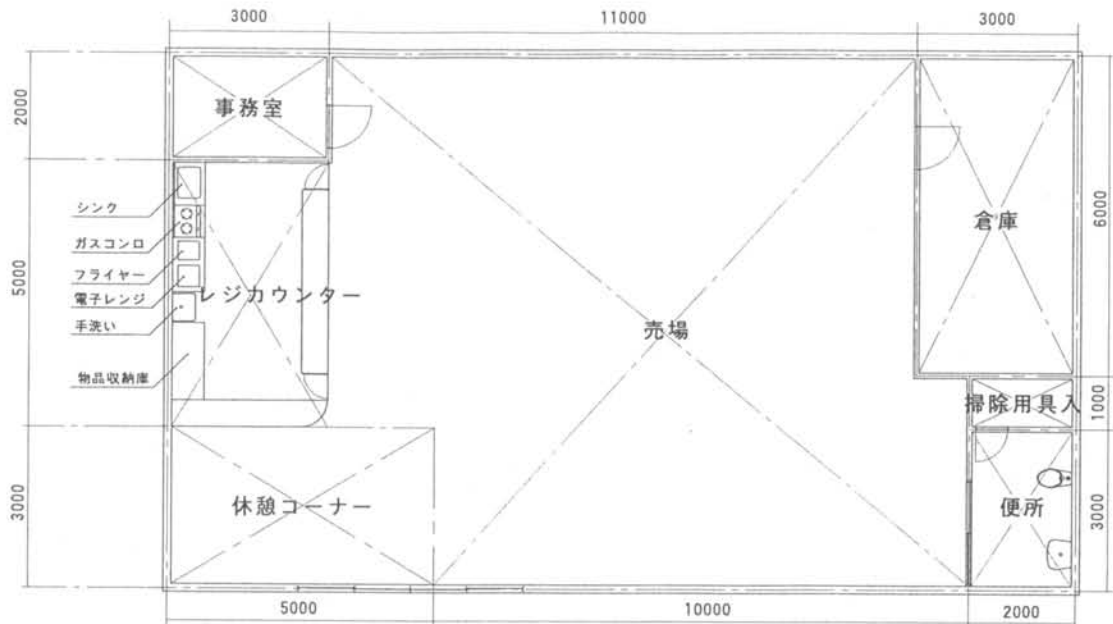
6. 浄化槽処理対象人員算定例

別紙参照

大阪府 建築都市部 建築指導室 審査指導課
構造設備審査グループ 岸本 博之
TEL 06-6941-0351 (内 3027) FAX 06-6944-6810
E-mail KishimotoH@mbox.pref.osaka.lg.jp

＊浄化槽処理対象人員算定例＊

(例一) 【建物全体を百貨店基準で計算できる例】



店舗関係 百貨店「5ー口」で処理対象人員を算定する部分

売場 : $11 \times 6 + 10 \times 4 + 2 \times 1 = 108 \text{ m}^2$

休憩コーナー : $5 \times 3 = 15 \text{ m}^2$

レジカウンター : $3 \times 5 = 15 \text{ m}^2$

事務室 : $3 \times 2 = 6 \text{ m}^2$

倉庫 : $3 \times 6 = 18 \text{ m}^2$

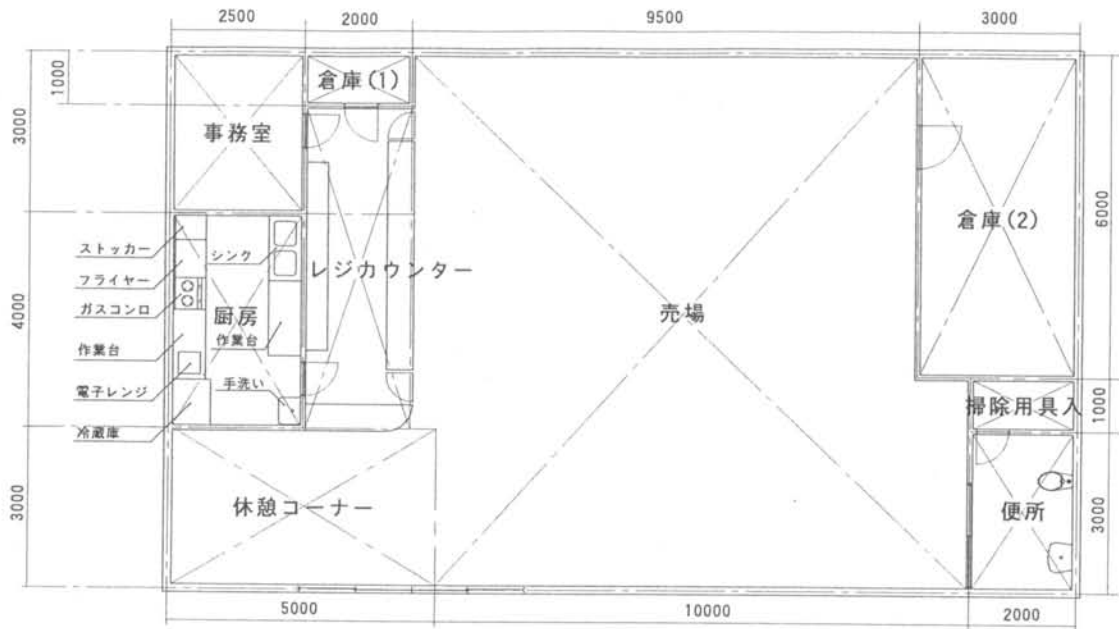
掃除用具入 : $2 \times 1 = 2 \text{ m}^2$

便所 : $2 \times 3 = 6 \text{ m}^2$

合計

$170 \text{ m}^2 \Rightarrow 170 \times 0.15 = 25.5 \text{ 人} \Rightarrow \underline{26 \text{ 人槽}}$

(例-2) 【厨房部分について飲食店基準の計算が必要となる例】



店舗関係 百貨店「5-ロ」で処理対象人員を算定する部分

売場 : $9.5 \times 6 + 10 \times 4 + 0.5 \times 1 = 97.5 \text{ m}^2$

休憩コーナー : $5 \times 3 = 15 \text{ m}^2$

レジカウンター : $2 \times 6 = 12 \text{ m}^2$

事務室 : $2.5 \times 3 = 7.5 \text{ m}^2$

倉庫(1) : $2 \times 1 = 2 \text{ m}^2$

倉庫(2) : $3 \times 6 = 18 \text{ m}^2$

掃除用具入 : $2 \times 1 = 2 \text{ m}^2$

便所 : $2 \times 3 = 6 \text{ m}^2$

合計 $160 \text{ m}^2 \Rightarrow 160 \times 0.15 = 24 \text{ 人} \dots \textcircled{1}$

店舗関係 飲食店「5-ハ(一般の場合)」で処理対象人員を算定する部分

厨房 : $2.5 \times 4 = 10 \text{ m}^2 \Rightarrow 10 \times 0.72 = 7.2 \text{ 人} \dots \textcircled{2}$

$\textcircled{1} + \textcircled{2} = 24 + 7.2 = 31.2 \text{ 人} \Rightarrow \underline{32 \text{ 人槽}}$